

令和5年2月

橋本市教育委員会定例会会議録

令和5年2月21日

教育委員会定例会会議録

開催日時 令和5年2月21日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第5展示室

出席者 教育長職務代理者 中尾 悦子
委員 田中 敬子 藪下 純男 吉田 元信
教育長 今田 実

出席職員 教育部長 堀畑 秀明 教育総務課 課長 浦 貴則
学校教育課 課長 森口 伸吾 生涯学習課 課長 萱野 健治
中央公民館 館長 大西 基夫 教育総務課
参事 阪口 浩章 課長補佐 中林 正
こども課
保育幼稚園係長 松本 和子

1 開会

2 前回会議録の承認について

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 柱本幼稚園の閉鎖について

報告第3号 適正規模・適正配置検討委員会条例の制定について

5 その他

協議事項

連絡事項

開会 午前9時30分

教育長 おはようございます。
本日の出席は5名で、全員です。これから、2月定例会を開会します。
前回の会議録の承認について、藪下委員をお願いします。

藪下委員 的確に記載されておりましたことを報告させていただきます。

教育長 ありがとうございます。
次に、今回の会議録署名委員は、中尾委員をお願いします。

中尾委員 はい、わかりました。

教育長 報告第1号教育状況について、私から報告します。第26回橋本マラソンについて報告します。新型コロナの影響で3年ぶりとなった橋本マラソンが、2月4日、天候に恵まれ、726名のエントリーを得て開催されました。800mファミリーの部をはじめ8種目で日頃の練習の成果を発揮していただきました。中でも、2kmの部一般女子に参加された74歳の方が時間をかけて最後まで走り切り完走された姿に、会場から温かい拍手が送られました。感動の場面でした。今回は、他の行事の日程変更やそれに伴う準備等の課題があり、これまで行っていたハーフマラソンが実施できませんでした。来年度以降については、今回の開催状況を踏まえて、橋本マラソン実行委員会で協議を行っていただき、市民の体力づくり、体育の振興、並びに地域の活性化につながる橋本マラソンとなるよう準備を進めていきたいと思えます。次に、2月12日に行われた第22回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会について報告します。橋本市陸上競技協会の方々に指導をいただき、11月5日からジュニア駅伝の練習がはじまりました。土日を中心とした、限られた中での練習でしたが、12月の選考会を経て、29名の代表選手団を結成し、2月12日の本番に臨みました。当日は、代表チームとオープンチームの2チーム20名が走ったわけですが、サポート選手9名も含め、体調管理をしっかりとしてもらい、29名全員で参加できました。結果は、代表チームが1時間14分46秒で10位、オープンチームは、1時間18分22秒でした。監督からは、「練習時の力を十分発揮してくれた」とコメントをいただきました。中でも、代表チーム9区の藪上翔音さんが、区間賞を獲得しました。今年度のチームは、5年生や中学1年生、2年生が多く、来年度に向けて楽しみなチームです。当日の応援、ありがとうございました。次に、2月10日に行われた、橋本市未来プロジェクトについて報告します。持続可能な開発のための教育、ESD教育を通して、課題を自分事としてとらえ、協働し、解決につなげられる児童の育成、持続可能な社会の創り手の育成を目的としています。この過程において、課題を自分事として考える中で、学校での学びの発表にとどまらず、自分たちの考えを伝え、市政に反映させる場につなげることで、行動する力、貢献することで得られる達成感、自己有用感につなげ、市民性の育成、ひいては持続可能な社会の創り手を育成して

いくのが、「橋本市未来プロジェクト」です。昨年度は、試行としてあやの台小学校での取組みを発表していただきました。今年度は、市内の小中学校から参加校を募り、清水小学校6年生、高野口小学校6年生、紀見北中学校生徒会執行部が参加してくれました。高野口小学校の提案は、「給食費無償化」「道路の白線について」「男女の制服について」「コミュニケーションを生む場所の設置について」「夏休み中の地域イベントについて」「お祭りについて」「公園の設置について」「公園の遊具について」の8項目でした。清水小学校の提案は、「地域の方たちのための学校がほしい」「楽しく遊べる場所がほしい」「向副グラウンドへ安全に渡りたい」「清水地域を明るくしたい」の4項目と、世界遺産・高野参詣道の一つ「女人道」で行った草刈りや道普請を通して学んだことを発表してくれました。紀見北中学校の提案は、「市のイベントを増やしてほしい」「給食について」の2項目でした。市長からは、提案ごとに丁寧な説明をしていただきました。できることについては、早急に取り組むことも伝えてくれました。私からは、発表することが目的ではなく、しっかりとした課題意識を持ち、調査を行い、議論し、そこで考えたことを伝えることができていたことを伝えるとともに、教育委員会が関係する項目について、考え方と方向性を伝えました。このプロジェクトは、来年度以降も継続し、より充実したものとなるよう、協議を重ねていきたいと思えます。次に、2月15日に行われた、教育功労者表彰式、杉村奨学褒賞、森脇慶一郎善行褒賞、田中久美子すこやか褒賞表彰式について報告します。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、三褒賞の表彰式は中止とし、教育功労者表彰のみ行いました。今年度は、時間短縮や参加者の制限等の対策を講じたうえで、行いました。教育功労者表彰式は、学校教育部門から、境原小学校堀畑秀行校長、橋本中央中学校森田常義校長の2名が受賞されました。コロナ禍における安定した学校運営、子どもの最善の利益を考えた教育活動等、定年退職前の3年間は特にご苦労いただきました。森田校長の謝辞の中にもそのことが述べられていました。また、その間の教育委員会事務局の支援に対する感謝の言葉は、私たち教育委員会で勤務するものとして、励ましの言葉となりました。伴走支援の大切さを改めて考えさせられました。三褒賞については、合計48名の児童生徒に平木市長から表彰状と記念品を授与いただきました。昨年度は、新型コロナ感染拡大を受け、一度は表彰式の開催を延期したものの収束が見えず、開催を中止せざるを得ませんでした。今年度は、各褒賞とも代表者への授与となりましたが、児童生徒の表彰の場を設定できたことで、受賞児童生徒にとって記憶に残る日となったことと思えます。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

田中委員

今未来プロジェクトの中で、「夏休みの地域イベントについて」、「お祭りのことについて」、「子どもたちが、地域と交流したい。」そしてまた、「自分たちも楽しいことをして地域を盛り上げていきたい。」ということがすごく表れている取組だったと感じました。

これからコロナが第5類に引き下げになって、いろんな形でイベントが再開されるようになります。橋本市としても、子どもたちのことをいろいろ考えてイベントを企画してくださっているというような噂も聞いております。そうなってくると、今教育委員会として、まなびの日などがあると思いますがそのイベントとどう関わって発展していくのか少し気になったので、今どんな感じで考えてらっしゃるのかということをお聞きしたいと思います。

教育部長

今おっしゃっていただいているのは、まなびの日、それから新しいお祭りの関係についてということでしょうか。

今年度はまなびの日につきましては、コロナ対策を行い、制限を設けた形で実施してはございましたけれども、令和5年度についてはそういう制限を設けずに、しっかりと取り組んでいきたいなというふうに考えております。

市長からの提案があった子ども祭りということで、コロナのことが3年続きまして、子どもたちが外で遊ぶという機会がなかなか少なかったのかなということで、今各団体代表の方々と検討会を立ち上げて、主に小・中学生、高校生、幼児を対象とした子ども祭りをどのような形で行うのが一番良いかということ、検討委員の皆さんに参画していただいて、協議しているところです。

具体的にいつ、どういうふうな形のものを行うということはまだ決まっておりません。またその辺りが明確になってきましたら、ご報告させていただきたいと思っております。

田中委員

ありがとうございます。

折角の機会ですので、まなびの日といえればいろんな方が参加される場所ですので、子どもの遊ぶ企画とできたら相乗効果というか、一緒にいろんな方が集まって、いろんな学びと遊びが出来る企画になれば良いなと思うので、そういったことも含めて考えていただけたら良いなと思います。

また、そういった支援者の育成もなかなか難しくなっているなといったことに参加して思うので、子どもたちもそういった機会に参加して、こんなこともあるということわかってもらえるようにお互いプラスになるような企画にしていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

教育部長

ありがとうございます。

やはり検討委員会の中でも、まなびの日に参画していただいている団体の方もおられまして、このまなびの日と子ども祭りについては、きちんと住み分けをした形でイベント開催をという形を今考えて行っているところです。やはり同じような形になっても仕方がないかなというふうに思っております。きちんとまなびの日はまなびの日、また今仮称子ども祭りといっておりますが、その祭りはその祭りで、きちんと住み分けした形で開催できたらと考えております。同じことをやっているとならないようにしたいと考えています。

田中委員

一つ心配なのが、どんな企画にしても同じような方が集まってくださってい

るので継続していくということが、まなびの日の会議にしても難しくなってきたのかなと実際に感じます。住み分けも大切かと思いますが、いろんな角度で検討もしていただけたらと思います。

教育長

新型コロナの影響で、まなびの日に取り組んでいることに制約がかかっていたということもあり、今までとは趣旨が違うような形でしか開催できなかったということがあります。それに対して、いろんな会議でそのことが話題に上ったりします。だから今後、本来どんなことを目的にしていたのかということをしっかり確認していくことは、これから大事なのかなということは私自身思っています。

ちなみに、今回子どもたちが提案してくれた中には「サマーボールをして欲しい。」ということがありました。それについては開催するというので、市長が答えてくれています。

この話の中で私がすごく嬉しいなと思ったことは、子どもたちはそれをしてもらいたいというだけではなくて、それをしてくれたら自分たちも例えば、「清掃活動に参画する。」とか「そこで募金活動して何か貢献できることはないかな。」とか「こういうイベントをそこの中に盛り込んでくれたら嬉しいな。」というような自分たちにできることを提案してくれました。してもらうだけではなくて、自分たちはそういうことに対して、もっと一緒にやっていきたいということを言ってくれました。特に生徒会の執行部については、具体的にそういうことが出ていたので、ぜひ一緒にできたら良い形になるのかなとそんなことも思いました。

すごく小学生から中学生にかけては、幅広く物事を考えられるようになっていくんだなということも実感したところです。

他にございませんか。

簗下委員

橋本マラソンの開催に係るいろんな準備であるとか、運営であるとか、本当にお疲れ様でございました。ジュニア駅伝についても、市の陸協とともに練習から始まって当日まで本当にこれもお疲れ様でした。

それから善行表彰等の48名ですけれども、本人だけじゃなくて保護者の立場になったら自分の子どもがこんなふうに表彰されるというのは、すごく嬉しいことだと思います。色々な面で励みになると思います。それと教育功労者表彰ですが、聞くところによりますと、来年度は学校教育ではおられないということですが、ここ最近社会教育の分野で表彰された方がどうなのか教えていただけたらと思います。

生涯学習課 課長

確かな年度はわからないのですが、最近では高崎正紀さん。元橋本市人権教育研究会の会長をされておられた方が退任され、会長交代の際に表彰したと聞いております。

教育長

他にありませんか。

ないようですので、これで報告第1号を終わります。次に、報告第2号に入ります。

報告第2号柱本幼稚園の閉鎖について、報告をお願いします。

事務局から説明願います。

こども課
保育幼稚園係長

こども課より報告します。今年度末で柱本幼稚園の閉園にあたり、資料をみていただきまして、ご覧のように書面によって地域の方に案内しております。資料の左下の図を見ていただきますと令和5年3月11日土曜日に、9時から14時までの間、柱本幼稚園を懐かしんでいただく日として園開放を予定しております。また、3月22日水曜日、9時半から卒園式、その後終了式、11時から閉園式を実施する予定となっておりますことを合わせて報告いたします。以上です。

教育長

報告が終わりました。
このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。
ないようですので、これで報告第2号を終わります。
次に、報告第3号に入ります。報告第3号適正規模・適正配置検討委員会条例の制定について、報告をお願いします。
事務局から説明願います。

参事

先の定例会におきましても、市内小・中学校の配置方針の見直しに令和5年度から着手するという報告をさせていただきました。それに伴い、外部委員会を設置するにあたり、本条例を3月議会に提案するものでございます。資料の3-2をご覧ください。要綱については、第1条から第10条までの構成となっております。第1条につきましては、本会の設置を謳ってございます。第2条の内容に関しては、今回は学校の適正規模に関する事、それから学校の適正配置に関する事、全部門にかかる具体的方策に関する事としてございます。それから組織構成ですが、検討委員会は委員25名以内としてございます。また、委員には学識経験のあるもの、教育関係者、地域住民を代表するもの、保護者を代表するもの、学校関係者、その他教育委員会が必要と認めるものとしてございます。任期は、委嘱又は任命の日から、第2条の規定による答申を終えるまでとしております。その他、必要な事項を各条項の中で設けております。本件につきましては、3月市議会の定例会に提案する内容となっておりますので、この場では報告とさせていただきます。説明は以上です。

田中委員

検討委員会の委員が学識経験のあるもの、学校関係者など、6つの分類で出ております。そのうちからということは、すべての分類から最低1人は出すということではなくてこの中から25名以内で組織を作るということでしょうか。どこか抜けるということはありませんか。

参事

1番から5番については、その中から委員になっていただきたいというふうに考えております。6番のその他教育委員会が必要と認める者については、あまり該当はしないかなと思います。1番から5番については、それぞれの方を委員として委嘱又は任命をしていく予定でございます。

教育長

他にありませんか。
ないようですので、これで報告第3号を終わります。
報告事項が終わりました。
続いて、協議事項に入ります。
まず、委員の皆様から何かありませんか。

簗下委員

たすけ愛信太だよりというのをお配りしております。橋本市には10地区それぞれに第2層協議体があります。たすけ愛信太というのは信太地区第2層協議体の愛称です。例えば高野口地区でしたら、ささえ愛高野口というような名前にしております。それぞれ隅田であるとか、紀見北広場とか名前がついています。この間、1月29日日曜日に研修会を行いました。これは昨年度からやろうかと言って、コロナ禍によりやれなかった認知症の研修会です。出席者は50名弱でした。どんなことをしたかといいましたら、まず2名のケアマネさんからいろいろな知識を教えてもらいました。特にこの、「3つのない」「7つのポイント」というものを教えてもらいました。それから、写真にもありますが模擬訓練を行いました。

この模擬訓練でなにをしたかと言いましたら、キャラバンメイトの方々に高齢者役と認知症役になってもらいまして、そこに声をかける訓練をしたわけです。見えないものが見えるという方とか、それから受け答えがはっきりしない方とかの役割をやってもらい、声掛けをやりました。その方の衣服やバッグにQRコードを貼っていて、それをスマートフォンで読み込むと関係機関に繋がる、それが警察に連絡するとか、消防に連絡するということになるかと教えてもらいました。実際その時は、QRコードを読み取る練習をただけですけれども、その後グループワークを行って、こんなことがうまくいった、うまくいかなかったということを振り返り、いろいろな疑問点についてキャラバンメイトの方から指導をいただきました。キャラバンメイトの方がおっしゃっていましたが、私たちは小学校でも声かけ訓練をしていますということで、小学生にもいろいろそういうことを教えてくださっているようです。

それから資料の裏側ですが、軽度の認知症にかかられている方の名前を載せてあります。これは本人も名前を載せてということで、山本芳照さんという信太地域にお住まいの方ですが、「私は認知症予備軍と言われていました。」というようなことから始まって、ずっと自分のことをお話してくださいました。この方は月1回開かれる認知症の研修会の認知症カフェ、信太では「みかんカフェ」と呼んでいますが、認知症の方が集まって交流会をしておられます。

いろんな方とお話をするということが大事ということで、そこへいきいき健康課から保健師の方も来られてお話をしてくださって、いろんな研修会があるとか、時には楽しいこと、お菓子づくりなどもしていると発表されました。この方が特にこれは言いたいっていうことを聞きましたら、認知症になってもやっぱり役に立ちたいという気持ちがあるということでした。そのために、認知症が進んでいくのを遅らせるように本を読んでいる、歌を歌う、お菓子を作る、人と話をする、そういうことが大事だから継続してやっているということをお話してくれました。

それから、私たちが役に立つ場面を地域で作ってくれたら良いなということも、かなり訴えておられました。非常にこの山本さんの話は良かったと僕は思いました。研修会を終えての感想文がたくさんあったのですが、載せるスペースがなかったため、今度の第2層の会議の時にはみんなに配る予定ですが今回は一つだけここに参加者の感想を載せてありますので、またゆっくり読んでいただけたらと思います。特に学校でもこんな勉強していることを僕は知らなかったのですが、昨年度まで紀見北中学校の校長をされていた方と話しましたが、紀見北にも山本さんが来てくれたというようなことを言ってくれていました。橋本市からは「認知症の私からあなたへ」というこういうパンフレットも出されていて、うまくまとめられていて、関心をもって読ませていただきました。以上です。

学校教育課 課長 学校でも認知症に関する教育というのは、市のいきいき健康課さんに協力いただきまして、学校に行ってもらいその学習を2、3年ぐらい前から始めております。以上です。

田中委員 小学校でうちの子も冊子を持って帰ってきて、家で一緒に読みました。怒ったらあかんのやなとか、後ろから声かけたらあかんのやなってイラスト入りで、わかりやすかったです。うちはおばあちゃんと一緒に住んでいるので、一緒に考える良い機会になりました。

教育長 初めは少ない学校だったんですけども、徐々にその講座を開いてくれる学校が増えてきておるところです。
他にありませんか。
次に、事務局から何かありませんか。
続いて、連絡事項に入ります。
まず、委員の皆様から何かありませんか。
次に、事務局から何かありませんか。

教育総務課 課長補佐 連絡事項につきまして、2点ご連絡させていただきます。まず1点目、臨時会についてです。令和5年3月1日水曜日、午前9時半から教育文化会館2階の応接室で臨時会を開催したいと思います。3月の定例会は24日の金曜日、午前9時半から教育文化会館4階の第5展示室で行いたいと思います。以上2点、日程の連絡です。

田中委員 卒業式の予定は、今年も出席はないですか。

学校教育課 課長 今年度の卒業式につきましては、コロナ禍での縮小した形で実施したいという学校長、またPTAと協議した結果の判断ですので、今年度につきましてはそのようにさせていただきます。

教育長

ちなみに、中学校が3月7日火曜日です。小学校が3月17日金曜日となっております。

他にありませんか。

ないようですので、以上で2月定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

閉会 午前10時40分

署 名 委 員